

組織現勢 (2月1日現在)

組合員数 20,305人
出資口数 140,198口
12・1月の新規加入 195人
12・1月の増資口数 177口

No. 416 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合

本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座(普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
年8回発行・定価1部 30円



みんなで楽しく健康づくりをしましょう

2018年度 仲間増やし年間目標達成に 向けて取り組んでいます

秋の仲間増やし・共 同組織強化月間報告

城南保健生協では、毎年10月～12月に「秋の強化月間」として組合員増やしを中心に取り組んでいます。今回の月間中の仲間増やしでは10月35人、11月86人、12月137人の計258人の新しい組合員を迎えることができました。4月～12月の合計では305人の仲間増やしです。年間の目標は700人の仲間増やしですので、1月以降も引き続きの声をかけを行っています。城南保健生協への加入は1口

1000円からです。月々の会費はありません。晩会される時は全額返金されます。皆さまからお預かりした出資金は訪問介護事業やグループホームの運営に役立っています。すでに組合員になっている方は、ぜひ城南保健生協を広め、お知り合いに「加入」をすすめていただければと思います。

また、今までお預けたい出資金にプラスして預けていた「増資」への協力もお願いします。詳しくは城南保健生協本部までご連絡ください。

第7回城南文化祭開催

舞台出演8グループ/展示作品13グループ
2月9日(土) 大森スポーツセンター小ホール



お楽しみ抽選会は、ハラハラドキドキでした



日頃の練習の成果を披露。若返り班の創作ダンス

今年で7回目を迎える文化祭を開催しました。この日の天気は雪ということもあり、来場者は70人でしたが、会場は舞台での歌や演奏、創作ダンスやギター小話など、温かく楽しい1日となりました。展示作品も組合員さんの手芸や書道、写真など

素敵な作品が出品されました。出演・出品をしてくださった皆さん、ご来場いただいた皆さん、そして、当日お手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました。来年も楽しい文化祭にしましょう。

(2面に写真特集)

参加者の感想から

●青井先生のお話を聞いて、憲法は変えてはいけないし、今の安倍政権を終わらせたいと強く思いました。

●若者の文化と社会を知ることが大切。生きてきた時代の違いはあっても、個人、いのちはもっと大切にされる社会であらねばと感じました。

●子どもたちにより未来を残



講演する青井未帆さん



憲法について考える1日になりました

「憲法こそたからもの!」Part2に600人来場 講演 青井未帆さん(学習院大学教授) スペシャルライブ「憲法くん」松元ヒロさん/諏訪原健さん

ゲストスピーカー



諏訪原健さん



松元ヒロさん

昨年の12月16日(日)、品川区立総合区民会館・きゅりあん大ホールで『憲法こそたからもの! Part2 憲法が変わるとどうなるの?』を開催しました。今回の企画は、昨年の主催者団体であった「東京南部法律事務所」「東京南部生協」「城南保健生協」に加えて、「五反田法律事務所」「東京医歯連西南ブロック」も主催者団体に入り、5団体で取り組んできました。

当日は約600人の方が来場。チケット普及にご協力いただきました皆さま、各団体の皆さまにお礼申し上げます。

私たち5団体は、「安保関連法(戦争法)の廃止と立憲主義を取り戻し、憲法9条を守る共同の輪を広げる」という大きな一致点があります。今回の取り組みが、「戦争する国づくり」をやめさせる力になると確信しています。引き続き、共同の輪を広げていきましょう。

とまっいて、訴えが聞く人の耳だけでなく心にまで響いてくる内容でした。ありがとうございます。

●諏訪原さんの「若者の置かれている状況」と新しい視点での対応が求められていることについて考えさせられました。

●このままの政権では日本はダメになる。国民がもっと声をあげなければならぬ。15%が変わればとの話を聞き、もっと声をあげなければと感じた。

腹八分

ウソつきは戦争のはじまり。一般的にはドロボーのはじまりです。国政は根本のところ、ウソ・隠ぺい・改ざんが洪水のようにあふれ、襲いかけています。「毎月勤労統計」というこれまでなじみの薄かった文字が目につく。飛び込んでいきます。ウソとゴマカシで平均賃金を低く見せて、雇用保険・労災保険の国の負担を少なくしたのです。▼ウソと改ざんはさらに進化、2018年は一変して賃金が増えたこととして「景気はゆるやかに上昇している」と報告。それが消費税増税の理由にされました。大資本にさらに富をもたらす、国民、とりわけ貧困層を苦境に追いやるのが消費税の実態。消費税で貯めたお金で使いもしない兵器をアメリカから爆買い。それを維持するために日本は海外でも戦争のできる国へ。まさにウソつきは戦争のはじまりです。この言葉を発したのは、格差社会を是正し、日本の変革に心を燃やす、一人の若き女性▼男性にも希望の若者がいます。今や日本のプロ野球の4番バッター・筒香選手です。彼が「空に向かってかっ飛ばせ!」という本を出版しました。少年に勝つことばかりを要求し、時に罵声・暴力を浴びせるおとなの指導者に、筒香選手は疑問を持ち続けていました。その思いを吹き飛ばしたのは中米の貧しい国で野球に打ち込む少年と指導者でした。ミスを互いに分かち合う。子どもこそ主人公と敬意を示す。その姿に筒香選手のモヤモヤが吹っ切れたのでした。